

## 気合と根性で、一戦一勝！ 少年野球で全国、そして世界大会へ

市役所で7月28日、「県央宇都宮ボーイズ」主将の蜂巣 祥万さん（矢板中3年）が市長を表敬訪問しました。チームが日本少年野球選手権大会栃木支部予選に優勝し全国大会へ出場するほか、蜂巣さんは、東日本ブロック代表チームの主将も務め、世界少年野球大会へも出場します。「チーム全員でつなぐ野球を意識し、一戦一戦大切にしたい」と意気込みを語り、市長は「全力プレーでがんばってください」とエールを送りました。



(左から) 蜂巣さん（祥万さんの父親）、県央宇都宮ボーイズ 入江代表、県央宇都宮ボーイズ 蜂巣主将、齋藤市長

## 花で地域に彩りを 花いっぱいコンクールが行われました

7月28日、市自治公民館連絡協議会による「令和5年度花いっぱいコンクール」の審査会が開かれました。この活動は、花を育てることで地域の連帯感を深め、さらに花で地域を美しく彩る意識を高めてもらうことを目的に行われ、12自治公民館が参加しました。

最優秀賞は、マリーゴールドの黄色やサルビアの赤色と青色の対比が見る人を魅了させていた東町公民館が選ばれました。



## 道の現場検証 県道下河戸片岡線・矢板那須線で実施

道路関係者（矢板土木事務所・警察・市）と地元区長参加のもと、「とちぎの道現場検証」が行われました。これは整備が必要な道路の現場検証を行い、課題を共有することを目的に毎年開催されるもので、今年、一般県道下河戸片岡線（片岡地区）では、交通ネットワークの確認、主要地方道矢板那須線（上伊佐野地区）では、沿線の樹木が繁茂することによる、冬季の路面凍結、倒木の危険性について検証しました。



## 「想定外」の暑さ続く クーリングシェルター大好評



詳しくはこちら

市では、市内8カ所の市有施設や民間商業施設を「クーリングシェルター（暑熱避難施設）」として指定しました。これは熱中症予防を目的に、危険な暑さから身を守り、誰でも自由に涼むことができる場所を確保するもので、10月25日まで実施しています。

暑さのピークを迎えた昼過ぎ、当該施設には買い物を終えて仲間と一緒に涼みながら会話を楽しむ高齢者や食事をしながら涼む学生などの姿が見られました。

